平成２９年度　しおさいの里等複合施設　事業計画

１．中期的な事業方針（計画期間：平成２７年度～２９年度）

現在、国では高齢者や障害者ができる限り住み慣れた地域で尊厳をもって、自分らしい生活を送ることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組み進めている。

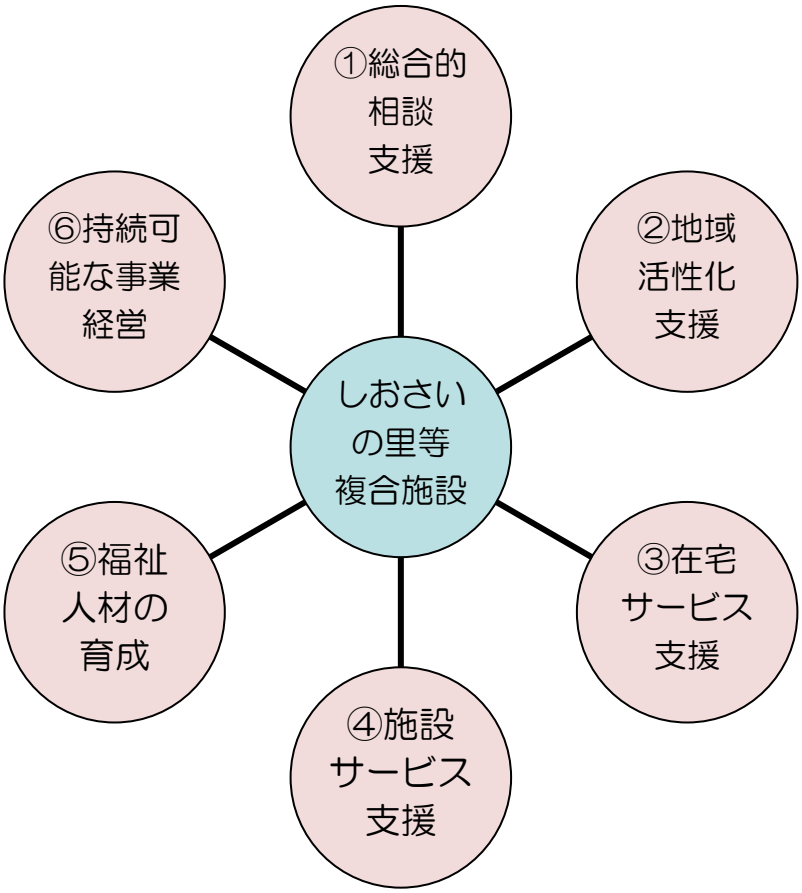
このような中、特別養護老人ホームにおいては、様々な主体が参入する介護サービス市場にあって、重度の要介護者や低所得者の「終の棲家」としての役割を一層果たしていくことが求められている。

また、障害者福祉の分野、とりわけ身体に障害がある方においては、当事者自身の高年齢化や障害の重度・重複化に対して、地域や医療と密接に連携した支援の充実が求められている。

他方、事業経営においては、介護報酬の減額改定、消費税増税、物価上昇、人材不足等による影響が懸念されており、危機管理機能を高めることがより一層、求められている。

限られた経営資源を有効に地域に還元するため、当複合施設の各事業部門が連携し、一体となって以下に掲げる３か年計画「しおさいの里　六華（りっか）プロジェクト」を推進していきたいと考える。

「しおさいの里　六華（りっか）プロジェクト　～地域に幸せの華を咲かせ隊！～」



図：「六華プロジェクト」のイメージ

六華とは、六角形の雪の結晶、雪の華。当複合施設の役割・機能を六つの華びらにみたて、「やさしさ」、そして「たくましさ」を持って、地域福祉の拠点として貢献していきたいという思いが込められている。

＜総合的相談支援（一ノ華びら）＞

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者相談支援センター等との情報共有を図りつつ、地域住民の相談窓口機能を果たします。

＜地域活性化支援（二ノ華びら）＞

地域住民、住民組織等の多様な主体と協働しながら、地域社会の活性化に向けた取り組みを推進します。（・介護予防事業「だんだん広場」　・障害者スポーツ等の体験交流（ふくしのひろば等）　・認知症啓発活動　・地域交流行事（夏祭り等）　・社会奉仕活動　・地元保育園や小中学校等との交流事業　・ホームページや広報紙等を媒体とした情報発信）

＜在宅サービス支援（三ノ華びら）＞

介護及び障害福祉サービス事業所としての資源やノウハウを最大限活用し、地域に還元します。（デイサービスセンター、ショートステイ）

＜施設サービス支援（四ノ華びら）＞

在宅での生活が困難な方々、特に中重度の要介護者や障害のある方々への生活支援に努めます。

＜福祉人材の育成（五ノ華びら）＞

人材不足が顕著に現れている福祉分野において、組織の活性化を図りながら、互いが協力し合うとともに、やりがいのある職場づくりに努めます。（・職員研修　・目標管理　・メンタルヘルス対策　・組織体制の見直し　・給与改善　・障害者雇用）

＜持続可能な事業経営（六ノ華びら）＞

当複合施設の安定的、発展的な事業継続に向けての取り組みを推進します。

（・収入増加策の検討（空床管理、加算の検討等）　・効率的、効果的な業務改善による経費削減　・設備、備品の大規模修繕、更新の計画、実施　・夕映えの郷事業部との業務連携）

２．事業内容

（１）特別養護老人ホームしおさいの里（介護老人福祉施設）

（２）しおさいの里ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）

（３）障害者支援施設さいはま園（生活介護、施設入所支援、短期入所）

（４）デイサービスセンターゆりかご荘（通所介護、新総合事業（現行の介護予防通所介護に相当するサービス、緩和した基準によるサービス））

（５）しおさいの里居宅介護支援事業所（居宅介護支援）

（６）地域包括支援センターうのはな苑（上越市委託事業、介護予防支援）

（７）介護予防教室「だんだん広場」（新総合事業通所型サービスＢ（まちづくり大潟委託事業）、法人独自事業）

３．平成２９年度事業計画

３－１）複合施設事業計画

（１）事業目標：六華プロジェクトの最終年度として、地域と共存しながら、関わるすべての人たちが生き生きと感じられる事業運営のさらなる向上を目指します。

（２）重点目標：

①「介護予防」から「中重度の要介護者」まで、幅広いニーズに応える観点からの「支

援・ケア体制の充実」を図ります（介護予防教室だんだん広場、半日型デイサービス、一日型デイサービス間での人的交流の促進等）。

②地域や関係機関等、外部との交流を促進することで、地域に暮らす高齢者の活躍の場の提供や施設利用者の生活支援の充実に努めます（施設内クラブ活動の充実とボランティアの積極的な受け入れ。夕映えの郷とのさらなる業務連携等）。

③法人内「認知症介護指導者」の配置を継続するとともに、各ユニットに認知症ケア担当職員を選び、組織的な取り組みを推進します。

④職員が健康で、生き生きと働ける環境づくりに努めます。その一環として、精神面（ストレス軽減）に配慮した取り組みを推進します。

⑤キャリアパス要件（職員の職位、職責、職務内容等に応じた任用等の要件）について、夕映えの郷と共同で検討することで職員の処遇改善を図ります（現行の介護職員処遇改善加算の見直し等）。

⑥適正な入札、見積の実施や、業務改善、コスト意識の向上により、さらなる経費削減に努めます。

⑦上越市が第７期介護保険事業計画（平成３０年度～）で実施を予定する「地域包括支援センターの再配置」に伴い、事業受託継続に向けた取り組みを推進します。

⑧非常災害ならびに防犯に係る対策を強化し、利用者及び職員の安全を確保する（非常災害計画の見直し、避難訓練の実施、福祉避難所の運営、防犯カメラ設置の検討等）

３－２）在宅支援課　部門計画

（１）部門目標：介護予防から要介護まで、継続かつ一貫性のあるサービス体制の構築を目指します。

（２）重点目標：

①介護予防教室だんだん広場、半日型デイサービス、一日型デイサービス間での人的交流を促進させ、一人ひとりのニーズの変化にも柔軟に対応できる支援体制の構築を目指します。

②上越市が第７期介護保険事業計画で実施を予定する「地域包括支援センターの再配置」計画に関する情報収集を行いながら、事業受託継続に向けた具体案を検討し、上越市に提案します。

③居宅介護支援事業所における介護支援専門員の配置数（増員）について、地域の要介護認定者数の実情や地域包括支援センター再配置の具体案と併せて検討します。

３－２－１）地域包括支援センター　部門計画

（１）部門目標：

上越市大潟区の「地域包括ケア」の中核機関として「公益性」、「地域性」、「協働性」の基本的な視点を持って、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるように「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

（２）重点目標：

①包括的支援事業を効率的・継続的に取り組むために活動内容の点検や評価、業務のマニュアル化など管理体制を強化していきます。

②見守りネットワークの体制づくりを具体的に取り組んでいくために関係者と協議していきます。

③地域の元気な高齢者が生き生きとした活動が継続できるように他機関と連携を図り、住民同士のつながりを支援していきます。

（３）業務目標：

①総合相談支援事業

ａ．地域の様々な相談に対し、関係機関と連携を図り、適切な支援を行います。

ｂ．地域住民の見守り・相談体制を強化するために、高齢者とのつながりのある銀行や商店等の関係機関へパンフレットや広報誌を配布するなど周知活動を強化していきます。

ｃ．６５歳以上の独居高齢者及び６５歳以上の高齢者のみの世帯を個別訪問し心身の状況、家族等の状況等の実態把握を行います。

②権利擁護事業

ａ．高齢者虐待や消費者被害の防止、日常生活自立支援事業、成年後見制度等の普及・啓発を目的に講演や研修会を実施します。

③包括的・継続的ケアマネジメント事業

ａ．頸城区と合同の個別地域ケア会議を通じて、大潟区総合事務所とともに大潟区の現状と課題の把握に努めます。

ｂ．地域課題に対して大潟区地域ケア計画を作成し、効率的・効果的に実施できるように関係者・関係機関と調整を行い、地域課題について具体的に取り組んでいきます。

ｃ．介護支援専門員に対し、２ヶ月に１回連絡会を開催し、自立支援に資するケアマネジメントの支援を行うとともに介護支援専門員同士の交流や資質向上の場となるように事例検討や研修を実施します。

④第１号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

ａ．チェックリスト対象者、要支援１及び２認定者に対してケアマネジメントが適切に行えているか職員間で把握していきます。

ｂ．委託している事業所に対して介護予防サービス計画が適切に作成されているか確認を行い、必要に応じて指導していきます。

⑤その他の事業

ａ．高齢者の生き生きとした活動が継続できるように「だんだん広場」や「いきいきサロン」等で介護予防の取り組みを提供していきます。

ｂ．地域の認知症に対する理解を深め、対応力の向上を図ることを目的に、頸北・名立地区キャラバン・メイト連合会と連携して認知症サポーター養成講座を開催します。また、各地区で認知症や健康をテーマにした講座を積極的に開催します。

ｃ．認知症の方やその家族が気軽に相談できる場所、また地域の知症に対する理解を深め、認知症になっても住みよい地域を目指すために月１回「認知症カフェ」を開催します。今年度は認知症カフェの運営が、さらに地域住民主体となることに重点を置きます。

ｄ．介護者が介護等に関する知識や情報を得たり、情報交換を通じて介護の悩みが相談できる場となるような「介護者のつどい」を実施します。

３－２－２）居宅介護支援事業所　部門計画

（１）部門目標：利用者が可能な限り居宅において、自立した生活が送れるよう適切なケアマネジメントの実施を目指します。

（２）重点目標：

①個別研修計画を各自が実施し、具現化することで質の向上を図ります。

②利用者一人ひとりの強み（プラス面）に着目し、最大限に引き出し、活かすことに努め、その方の自立を支援していきます。

③どの場面でも利用者の立場になって物事を考え、その方に何が必要かを捉え、個別の支援、サービス提供を調整していきます。

３－２－３）デイサービスセンター　部門計画

（１）部門目標：地域で暮らす高齢者の皆様が行ってみたいと思っていただけるデイサービスを目指します。

（２）重点目標：

①お試し利用を積極的に受入れ、ご利用者様が利用してみたいと思えるような暖かいサービスの提供に努めます。

②ご利用者様、ご家族様の意向を確認し、個々に合わせた支援を行います。

③職員がストレスを抱えないような職場環境を目指します。

④新規依頼には迅速に対応し早期利用につなげ、通所介護及び総合事業の現行相当サービス（みなし）の毎月の利用延べ人数６５０人を目指します。（毎日の利用者数２５名以上）

⑤半日型デイサービス（主に総合事業の通所型サービスＡの対象者）の年間１７人の新規利用者の受入れを目指します。

⑥介護予防教室だんだん広場との人的交流を促進させ、一人ひとりのニーズの変化にも柔軟に対応できる支援体制の構築を目指します。

⑦在宅支援課各部門や関係機関と連携を図り、情報を共有し、在宅生活が続けられるように支援いたします。

３－３）高齢介護課　特別養護老人ホーム　部門計画

（１）部門目標：利用者、職員共に笑顔で、安心して楽しみのある生活が送れるよう心や思いに寄り添ったサービスの充実を目指します。

（２）重点目標：

①利用者の基本的人権を尊重し、安心・安全な生活が継続でき、その人らしく笑顔で生活できることを大切にしながら支援します。

②専門職としての自覚を持ち、個々の役割と責任を認識しながら、職員間のコミュニケーションを大切にし、風通しの良い、働きやすい職場環境を目指します。

③地域に暮らす高齢者の活動の場としてボランティア活動の受け入れを継続します。ボランティアコーディネーターと連携しながら利用者が楽しみややりがいを持てる活動を取り入れ社会との結びつきの輪を広げていきます。

④クラブ活動や外出、お料理活動を通し、利用者の可能性を引出し、利用者同士の交流

も深めていきます。

⑤一人ひとりが自身の資質向上のため、積極的な研修参加や自己研鑽に努めます。

３－３－１）しおさいの里　２丁目　部門計画

（１）部門目標：利用者が心身ともに健康で充実した生活が送れるよう、職員が協力し合い、真摯に支援していきます。

（２）重点目標：

①日々の生活支援の中で、感染症の予防・安全への配慮を行いながら、年間、月の行事・クラブ活動を楽しんでもらえるよう努めます。利用者の個々のニーズにはできる限り応えていきます。

②言葉の表現、トーン、対応の仕方等、不適切ケアに繋がらないよう職員全員で気を付け、ケアの向上に努めます。また職員の心身の健康にも配慮し、職場環境の改善も進めていきます。

３－３－２）しおさいの里　３丁目　部門計画

（１）部門目標：　利用者、職員共に笑顔で安心・安全な援助の提供を行います。

（２）重点目標：

①利用者が自分らしく笑顔で生活が送れるよう、思いに添った安心・安全なサービスを提供します。

②職員間のコミュニケーションを大切にし、相談しやすく働きやすい環境作りに努め、より良いサービス提供を目指します。

３－３－３）しおさいの里　６丁目　部門計画

（１）部門目標：利用者にとって居心地の良い場所、職員にとって働きやすい環境作りに努めます。

（２）重点目標：

①不適切ケアにつながらないよう、業務体制を工夫しながら、職員心にゆとりを持ち支援します。

②それぞれ委員会活動、係活動において役割を再認識し、責任感を持ち業務します。

③風通しの良い働きやすい職場環境を目指し、職員同士コミュニケーションを図り、報告・連絡・相談を図ります。

④利用者とのコミュニケーションや日々の支援の中で、その人らしく生活できるよう楽しみややりがいが持てる活動を探り、活動を通し利用者の可能性を引き出していきます。

３－３－４）しおさいの里　７丁目　部門計画

（１）部門目標：利用者一人ひとりが安心・安全な生活をしっかり送れるよう支援します。

（２）重点目標：

①職員間の連携を密にし、介護事故を起こさない、起こらないよう努めます。

②衛生面に十分配慮し、感染症や風邪の拡大防止に努めます。

３－３－５）しおさいの里　５丁目　部門計画

（１）部門目標：　何度も利用していただけるよう心のこもったサービスの提供に努めます。

（２）重点目標：

①利用者や家族の意向を汲み取り、人権を尊重し気持ちに寄り添った対応を行います。

②楽しみのある生活が送れるようクラブ活動やお料理活動を行い、やりがいを持ち笑顔で過ごせるよう支援します。

③特養の空きベッドも活用し、利用率アップに繋げ、毎月の利用延べ人数 330 人を目指します。

３－３－６）看護　部門計画

（１）部門目標：　安全に生活できるサービス提供のため努めていく。

（２）重点目標：

①薬の管理

限られたスタッフ数で安全に管理、提供できるように努めていく。

薬セット事故ゼロの継続。

②医療機器の管理

必要時安全に使用できるようにしていく。年３回定期点検の実施。

③利用者や家人の気持ちに寄り添ったケア

意向確認票の活用状況（平成 29 年 1 月～）の評価。

④処置物品の管理

効率良く清潔に行えるように進めていく。

３－３－７）機能訓練　部門計画

（１）部門目標：　利用者の思いを汲み取り、他職種との連携を図って援助を行って行きます。

（２）重点目標：

①専門職としての視点から、利用者様の能力や可能性を念頭に置き、安全な生活環境や充実した生活を送れるように、支援に努めます。

②引き続き地域貢献活動（だんだん広場等）を通して、地域住民の健康増進に努めます。

３－３－８）相談支援　部門計画

（１）部門目標：利用者、職員共に笑顔で、安心して楽しみのある生活が送れるよう心や思いに寄り添ったサービスの充実を目指します。

（２）重点目標：

利用者が楽しみややりがいを持てるようにボランティアを積極的に受け入れ、様々な活動を行い、その人らしく笑顔で生活が送れるように支援します。

＜行事年間計画＞

４月	・花見　高田公園	10 月	・散歩
５月	・ジャスコ買い物外出	11 月	・ふくし祭りへ参加・外出
６月	・かっぱ祭り　・あごすけラーメンボランティア	12 月	・お買い物会

７月	・お買い物会　・蓮見学　高田公園	１月	・みんなでクッキング
８月	・施設行事　フェスティバル 8/26（土）	２月	
９月	・施設行事　敬老会	３月	

３－４）障害支援課　さいはま園　部門計画

（１）部門目標：コミュニティの拠点としての施設を目指します。

（２）重点目標：

①利用者の「自分でできる」という思いを大切にした自立支援と、「なりたい自分」を目指す自己実現を支援し、ＱＯＬの向上を目指します。

②重度の障害がある方のコミュニティの拠点施設として、行政や相談支援事業所と連携を図り、受け入れ体制を整えます。

③地域の暮らしを支える短期入所は、円滑な受け入れ体制を整備し、緊急時や避難的な利用など、個々の環境に応える施設を目指します。

④全国身体障害者施設協議会（新潟県身体障害者施設協議会）の一員として、障害者福祉に貢献し、介護知識や技術の向上に努めます。

⑤夕映えの郷との連携により、コミュニティの多種多様な障害者の実情を把握し、障害支援の専門性を生かした体制を構築します。

⑥職員同士が相談しやすい環境で「協議（目的を合わせる）・協力（力を合わせる）・協調（心を合わせる）」の働きやすい職場を作ります。

３－４－１）障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）　部門計画

（１）部門目標：「ひとりのニーズに機能する施設」を目指します。

（２）重点目標：

①全国身体障害者施設協議会が推奨する「ケアガイドライン」を用いて、個別支援と自己実現を叶える体制づくりに努めます。

②入所者の重度化が顕著となり、高齢化と障害の重複化により、医療機関と連携が不可欠であり、さらなる健康管理に努めます。

③利用者の要望や苦情、相談ごとに真摯に向き合い、人権意識向上委員会の３原則を遵守し人権を尊重します。

④夕映えの郷と合同行事を企画し、利用者間の交流を通して、個々の生活の幅や可能性を広げる支援を行います。

⑤記録のＰＣ化、移乗支援用具の導入を達成し、より一層の効率化と業務軽減を図り、働きやすい職場を目指します。

３－４－２）短期入所（ショートステイ）　部門計画

（１）部門目標：コミュニティ拠点としての施設を目指します。

（２）重点目標：

①緊急時や災害時の福祉避難所として機能し、円滑な受け入れ対応を目指します。

②重度な障害をお持ちの方に対応し、「介護職員による医療行為」体制を整備します。

③レスパイト機能だけでなく、将来の施設生活に安心感が持てるよう、入所待機の場としても機能します。

④夕映えの郷との連携により、地域の障害者を把握し、障害特有のニーズに応えられる「暮らしを支える施設」として制度の狭間を支援します。

３－５）管理課　部門計画

（１） 部門目標：利用者、職員が共に「安心」を実感し、「喜び」を引き出せるサービスを目指します。　「効率的な経営」に努めます。

（２）重点目標：

①施設を利用される方々が、安心・安全に生活ができるようサービス向上に努めます。

②利用者に寄り添う、食事提供に努めます。

③安定的・発展的な事業経営ができるよう、業務の改善に努めます。

④職員、法人組織間の連携を通して効率・効果的な経営に努めます。

⑤職員一人ひとりが生き生きと働けるよう職場の活性化に向けて、職員の健康と精神的健康の増進を図り活力ある組織づくりを推進します。

３－５－１）管理課　厨房　部門計画

（１）部門目標：「食べる喜び」を感じて頂き、おいしく安全な食事の提供に努めます。

（２）重点目標：

①他職種との連絡調整を密にし、工夫や配慮を加え、心のこもった食事提供に努めます。

②選択メニューや郷土食など楽しみにしていただける様な食事を心がけます。

③衛生管理を徹底し食中毒を予防します。

３－５－２）管理課　事務　部門計画

（１）部門目標：　業務改善を常に念頭に置き、効率的な経営に努めます。

（２）重点目標：

①光熱水費、経費等のコスト削減に努めます。

②情報を共有し、円滑な外部対応を行います。

③労務管理において情報の共通管理を進め、効率化を図ります。

④経理業務において、新たな会計ソフトと監査の導入により、正確で効率的な業務を行います。

⑤他職種の業務を支える職場環境と組織づくりを目指します。

⑥法人間で経理業務や経費削減を効率・効果的に行うよう努めます。

３－５－３）管理課　保安、宿直、清掃　部門計画

（１）部門目標：利用者が安心、安全、快適に施設を利用できるよう各職種間と連携を取りながら効率、効果的な業務に努めます。

（２）重点目標：

①整理・整頓を心がけ効率的な業務を行います。

②安全、安心、清潔を心がけサービス向上に努めます。